

地区だより

…………… 令和6年3月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,782人 女 20,279人
計 39,061人
世帯数：20,835世帯
(2月1日現在)



市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊟536-9828

令和6年 中央地区町会連合会新年会

1月10日、エルティ ウェディング・パーティー エンポリウムで、中央地区町会連合会新年会を開催しました。町内会長など37人が出席し、来賓として市長、市議会議長のほか、中央地区にゆかりのある国会議員、県議会議員、市議会議員にご臨席いただきました。

引地洲夫連合会長は、町内会が果たす役割は幅広い分野においてますます大きくなってきていると話し、市のさらなる発展に向け、中心市街地のまちづくりに積極的に努めていきたいと意気込みを語りました。

■問/地域共創課 ☎525-3731



▲出席者に向けあいさつする引地会長



▲令和6年能登半島地震の被災地支援のため、出席者より募金のご協力をいただきました

健康づくりで競争（共創）

CHALLENGE



SEASON
2024.2 >>> 2025.1

市民3,000人が参加した健康づくりで競争（共創）チャレンジの新シーズンがはじまりました。「まだ参加していない！」という方は今すぐ参加しよう！

参加方法

▶ふくしま健民アプリから



①スマートフォンでダウンロード



②地区登録（詳細エリア）をする

③月に1回以上起動

▶台紙から

保健福祉センターか各支所・学習センターに備え付けの台紙を入手・提出して参加

健康づくりで競争（共創）チャレンジとは

地区ごとに個人の毎日の歩数などを健康づくりポイントにして集計し、順位付けします。地区ごとに集計し、参加率と一人あたりのポイント数で競います。ポイントはふくしま健民アプリや健康づくりポイント事業の台紙のポイントを集計しています。結果に応じて、まちづくりのための交付金を進呈します。



▶中間順位



▶昨年の最終結果

◇アプリ（地区登録）・まちづくり資金について >>> 地域共創課 ☎525-3731

◇健康づくりについて >>> 健康推進課 ☎597-8616

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

受講生募集

市民学校「地域の防災力アップ講座」

- 内容 ※全2回の連続講座となります。
 - ①第1回 3月16日(土)
【地震に備える！データで学ぶ災害】
地震に関する一般知識、過去の地震の事例、地震の備え方に関する講義
 - ②第2回 3月23日(土)
【内水ハザードマップ～万が一の災害にあわてないために～】
局所的に短時間に降る雨(ゲリラ豪雨等)により発生する内水浸水被害に対処するための正しい情報や避難行動、浸水想定箇所の解説
- 時間 午前10時～11時30分(予定)
- 場所 中央学習センター 第1講義室
- 講師 ①福島地方気象台職員
②福島市下水道建設課職員
- 対象 中央地区在住・在学・在勤の方
- 定員 15名(先着順)
- 参加費 無料
- 申込み 2月21日(水)から3月8日(金)までの間に、掲載のQRコードよりオンライン、または中央学習センター窓口で申し込みください。電話での申込みも2月21日(水)より受け付けます。
※窓口・電話受付時間：午前9時～午後5時45分(休館日(火曜日・祝日・振替休日)を除く)



【申込QRコード】

令和6年度 中央寿大学へのお誘い

- ※60歳以上の方の講座です。
健康で生きがいのある心豊かな毎日を送るために、バラエティーに富んだ内容を1年間(全15回)を通して学びます。多くの皆様の受講をお待ちしています。
- ☆対象 象：中央地区在住の60歳以上の方
- ☆開設期間：5月24日(金)〈開講式〉
～翌年3月14日(金)
- ☆内容(実績)：健康講座・教養講座・鑑賞講座・なつメロ・移動学習等
- ☆資料代：1人1,500円(年間)、夫婦1組2,000円(年間)
※鑑賞や移動学習等は実費負担になります。
- ☆申込方法：各老人クラブを通じて、又は個人で申込用紙に記入し、資料代を添えて4月5日(金)までに中央学習センター窓口へお申し込みください。
※「個人の申込用紙」は中央学習センターにあります。



学びの轍 ～つどい・まなび・むすび・いかす、中央学習センターを未来へ～

地域のウェルビーイングを目指す公民館「ふくしまマスターズ大学がもたらしたもの」

思えば吾が人生は、公民館・学習センターと共にあったと言っても過言でない。将に感謝の施設である。初の中央公民館利用は、昭和35年頃。若者たちの歌う会であった。主催者としての利用は、昭和50年代に入り福島市青少年団体連絡協議会、福島青年クラブ、福島市芸能協会など。平成に入り次々と団体を設立しお世話になった。福島市マスターズクラブ、マナビィたちばな、(日本スポーツ吹矢協会福島中央支部)、福島市ふれあいクラブ、福島市ガラス絵美術協会、どじょうすくい踊りの会などで利用しており、実に60年近く、お世話になってきたのである。中央公民館・学習センターがあったから、これらの活動を継続してこられたのであり、改めてお礼申し上げたい。

思い出としては、三島館長時代・運営審議会委員の公募委員第1号で、マスターズ第3期生と4期生の会立ち上げを提言し実現した。老生は2期生で10期まで行ったら、福島市マスターズ大学院を創立しボランティア実践を通じた学びの場創出をめざしたが……無念。

利用団体の役員にも手を挙げて入り、中央学習センターを新庁舎西棟に入れるよう議会に請願することを提案、総会で採めたが承認され請願した。嬉しいことに、近年それが現実のものになった。

菊地館長時代に利用団体連絡協議会の暑気払いを提案・コロナ禍前まで中合サンダースを会場に、盛大に開催されていた。ぜひ継続して欲しい事業のひとつである。

—赤間利晴さん(元中央学習センター運営審議会委員)より寄稿(一部抜粋)

～ふくしまマスターズ大学同期生会とは～

平成11年度よりマスターズ大学に参加した還暦受講者が自主的に同期生会等の組織を立ち上げ、現在、12の同期生会がふくしまマスターズ大学講演会の運営協力や、教養・体験学習、健康づくり、施設見学、小旅行など交流を深めながら自主的に活動している。同期生会員の多くが、地域の様々な団体の主要メンバーとして活躍中。



新館トピックス

- ・市民センターと併せて立体駐車場工事も今後進められます。
- ・市民センターの利用方法や予約方法は今後決定していきます。



学習センターの窓口時間は、火曜日・祝日を除く午前9時から午後5時45分までです。